



亀ちゃんパン



きらめき亀山21

きらめき亀山21広報部
amani@helen.ocn.ne.jp

第35号

2004年2月21日発行

生まれ変わる太岡寺交差点

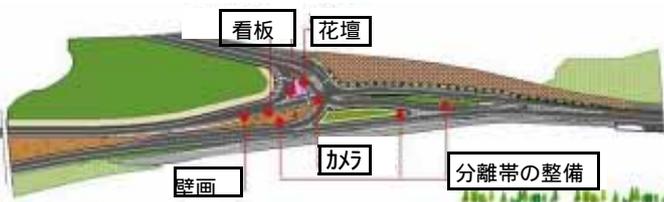
太岡寺交差点にゴミを捨てさせないために...

「賽(さい)の河原の石積み」と言う言葉があります。いくら努力しても報われないたとえですが太岡寺交差点でのゴミ拾いは正にそうでした。10年近く前から中学生から高齢者まで各種団体からのボランティアが総出で掃除をしても1週間たてば元の木阿弥でした。道路管理者も毎月掃除はしているのですがゴミの量たるや実に年間13トン。これは1軒の家庭が1年に出す約40倍です。何度も環境を考える場で議論されてきましたが、結局は妙案なし。捨てる人、主に長距離運送のトラック運転手が悪い、信号交差点を無くすしかないとの結論でした。

2003年11月「国道1号線 太岡寺交差点にゴミを捨てさせないために」という会議が亀山市まちづくり推進会議・亀山市地区衛生組織連合会により開催されました。中学生、高校生から各種ボランティア団体、各企業代表、トラック協会、地域の衛生組織等約80人が出席し本音で意見を出しあいました。



中学生からは「あそこは壁に囲まれていて暗い。色を塗ったりして、きれいな明るい交差点にしたい。ゴミを捨てないように訴える絵を書く。監視カメラに撮って公開する。」等の提案が出され「わたしは大人になってもゴミを捨てるような人にはなりません」との率直でしかも厳しい声もありました。これらの声はそのまま道路管理者である国土交通省 三重河川国道事務所に届けられその対応を待つことになりました。その回答は驚くほど早くまた具体的なものでした。この2月5日、前回と同様に中学生も集まった場で国土交通省国道事務所から交差点のクリーン化にむけての工事内容の説明がありました。効果的な大型看板の設置 交差点への花壇や緑地整備、壁画によるイメージアップ 監視カメラの導入による情報提供とドライバーへの警告 植樹・清掃活動等での市民ボランティアとの連携等で今年度中に実施される見込みです。看板の標語や壁画作成は高校生を含めた市民の参加で行ないます。これらの施策が来年度を待たずに具体化した背景には道路管理者が、もはや市民の声を無視できなくなってきたこと、市民からの発信を待っていたことがあります。中学生は「自分たちの意見が解決につながったとわかり嬉しい」と声をそろえました。まちづくり推進会議からは「10年以上ゴミを拾ってきたが国土交通省を動かすことができやっと現実化できました。花を植えることでお手伝いしたい」との声。ハード面の工事は国土交通省でどんどん進めて行きます。3月20日頃には亀山・関の住民みんなで掃除をして花を植える活動を予定しています。みんなの手による壁画・看板も設置されます。太岡寺交差点のゴミがすぐにゼロにはならないまでも、もはや「賽の河原の石積み」ではない、新しい時代の到来です。これでもダメなら次の施策がある。市民ボランティアが、無料で使える労働力としてではなく知恵を出し汗を流し参画する時代が始まったのです。このクリーン会議は他の分野にも発展していく可能性があります。市民は、行政は、企業は・・・みんなで知恵を出す。アイデアだけでなく輝く亀山のためにこれから何をやっていくかが問われています。



目次:

生まれ変わる太岡寺交差点	1
市民交流の日から亀山大市ふれあいブース	2
KIFAMIGO2004 ふれあいひろば ぼっかぼかの会講演会 亀ちゃんパン誕生秘話	3
これからの行事予定	4

2004年3月21日(日)
19:30~21:30
「市民交流の日」

市役所3階大会議室
事前申し込み等不要
その日来た人は
みんな仲間!

毎月第3水曜日は
パソコン無料相談日
パソコンのトラブル
相談を受け付けています。

市役所市民コーナ
10:00~17:00
「すずかのぶどう」より
詳しくは...
「きらめき亀山21」HPで





1月の市民交流の日の発言から テーマ「安全・安心なまちづくりについて」

2004年1月21日（水）19:30～

- ・少年補導をしているが最近市内で子どもが被害にあうことが増えてきた。4月から44件の被害。塾に行く途中に狙われた等。地域で何とか見守れないか。引ったくりも3件。そういう話の情報公開は？地域コミュニティに連絡している。計画的組織的に対策が必要では。
- ・小さい子がひとりで登下校している。集団登下校が必要では。SOSの家があるが何も無い道が心配。
- ・空き巣が2ヶ月で20件以上。老人会がパトロール始めた。
- ・子どもに声をかける方法が必要では。今、子どもたちが腕章づくりをしている。
- ・郵便局、宅配便にも異常なときの連絡を依頼しているがプライバシーの問題もある。
- ・散歩、ウォーキングの人の腕章活用等、抑止力になる。
- ・警察だけでは検挙率が低い。防犯には地域と行政が連携必要。市民にネットで知らせる必要がある。
- ・ある事件があった。容疑者は4軒隣でも30年話したことなかった。昨今は地域の方でも話したことがない人が多い。地域共同体が防犯の役をなしていない。都市化してもう戻せない。
- ・駐在さんは留守が多い。
- ・深夜の歩行者がいても不審者かどうか判断できず通報もできない。
- ・回覧板も相手の顔を見て渡すのがよい。
- ・亀山市では身に覚えのない請求書への注意呼びかけしている。自宅の近くで空き巣に入られた。犬を買ったり庭木を切って自主防衛始めた。地域で連携を取る必要もある。

食の安全

- ・生産者と消費者をつなぐのが安心な食への道。消費者側と生産者側の勉強も必要。
- ・地産地消は生産者と消費者の連携が必要。高くてもいいものをと、保険として考えないと。身土不二の考え方を。
- ・畜産農家ツアーをしよう。チャンスをつくる。農薬の害を学ぶ。
- ・有機栽培の物は見かけが悪くなりがちで販売が難しいが、売れずに廃棄していたものを商品として市場に流しているケースも。
- ・防カビ剤は便利だが水質悪化につながる。薬剤よりまめに掃除を。

今年も大賑わいの亀山大市「ふれあいブース」

130余年の伝統がある北勢名物亀山大市が、1月24日（土）・25日（日）に催され、この冬一番の寒気襲来にもかかわらず両日とも風がほとんどない好天に恵まれ大いに賑わいました。昨年初めて商業団体連合会が企画した「ふれあいブース」が今年も東小学校へ向かう道路沿いに設けられることになり「地域の活性化を考える会」の呼びかけに沢山の方の応援協力があり、市民交流ふれあいの場を実現することができました。

東小学校は「ええとこ亀山」をテーマに本町筋で、白川小学校は「小川炭」をふれあいブースで総合学習の発表としました。市民グループからは21団体がブースを設置しそれぞれの活動を紹介したり作品等を展示即売しました。

地元の農産物の直売、坂本棚田の紙漉実演、総合環境センターの「のみの市」、水墨画や陶芸の作品展示即売、肉まん・あんまん・手作り焼き菓子・焼きそば・みたらしなどの食べ物コーナー、和菓子の亀山土産出前店のとなりは亀山茶、パルーンマジック、交通安全の啓蒙に映画塾や市橋さんを支援するグループの活動紹介など思い思いの店が立ち並び、道行く人とのやりとりも賑わしく大盛況でした。今年は、ブース内に2箇所ほどお休み処を設け好評でした。お休み処では、ゴミの分別回収を試みましたが十分とはいえませんでした。ブースの準備・設営・撤去まで、ブース参加者、町の人、商店の人、市役所の人など沢山の人たちの協力での運営ができました。これからの大市、130余年の歴史、商店街の活性化、冬の風物詩としての町の人々の楽しみをどのように引き継いでいくのか楽しみです。





『K I F A M I G O 2004 ふれあいひろば』

今年も2月1日(日)に亀山市青少年研修センターで第2回「K I F A M I G O 2004ふれあいひろば」が開かれました。亀山市及び近隣に住む外国人と市民とのふれあいを目的に、K I F A : 亀山国際交流の会が主催する交流会です。今回は、来場者みんなが一緒に楽しむことでふれあいをと、参加型のイベントとなりました。

「あずま太鼓」のオープニングで賑やかに幕が開き、その後「あずま太鼓」さんの指導のもと参加者が加わっての100人(?)太鼓は圧巻、その迫力に感動!!最初は自信なさそうに初めてパチを持った顔も終わりにはみんなが盛り上がり大満足。そこでは言葉を越えた心のふれあい体験となりました。

次は「子ども劇場」の皆さんによる『南中ソーラン』、また三重大大学の留学生たちによるタイダンスの披露と続きました。会場は一つの輪になって国際色豊かな即席タイダンス会場となり、賑やかな笑いの渦となりました。参加者持寄りのお菓子や食べ物をほおぼりながらのティーパーティーのあとはミニ綱引きとビンゴゲームを楽しんで、交流会は無事終了しました。よく多文化共生社会とか言われますが、人と人の交流は言葉ではなく心の交わりだと改めて感じさせてくれた今回の『ふれあいひろば』でした。



100人太鼓



みんなでタイダンス

ぼっかぼかの会 講演会のお知らせ

日時：2004年2月29日(日) 10:00~12:00

場所：亀山市総合保健福祉センター「あいあい」2階 小会議室1

講師：赤塚えつ子先生

内容：つくしの家で「障害を持つ人たちと一緒に働いて」

赤塚先生より：障害を持つ人と一緒に16余年が過ぎました。彼らが悩み苦しみながら生きているのに何度もぶつかりました。そんな彼らが、ひたむきに生きている姿を少しでもお伝えできればと思っています。



亀ちゃんパン誕生秘話

第4回市民交流会を飾る山と積まれた亀のパン、これこそ亀山!

このパンは、せっかくの交流会だからスタッフも何か楽しいことをやってみようと思いつきました。昨年の交流会では多門櫓のケーキを作って展示、後片付を手伝ったみなさんで食べました。ケーキのスポンジは専門店で作っていただいたけどあとはすべて手づくり。けっこう好評でした。今年は何をしようかと早くから一部の実行委員で案を練っていました。そんな時「ぼっかぼかの会」の野呂さんがパン作りに情熱を持っていて、まもなく家を改装してパン工房を開くらしいとのこと。パンならケーキと似たようなもの、一緒に案を練ろうと思いついたのが亀の形のパンでした。中身はチョコ・うぐいすまめ・うぐいすあん・小豆あん・レーズン・桜あん・天津栗あんと楽しいアイデアが続きます。何度か試作品を焼き上げて姿かたちつやも見事なオリジナルパンができました。でもせっかくだから交流会に展示したあと参加した皆さんに持って帰っていただく、200個を手づくりすることになりました。口コミで集まった調理係パン班の面々は野呂さんの指導のもとあいあいの栄養指導室で朝から夕刻までパン作りです。大きな山の形に盛り付け、たくさんの亀ちゃんが頂上めざして登っていくイメージです。この亀ちゃんパン、もしかしたら亀山の新しい名物になるかもね。手づくりパンのまち亀山なんちゃって!

パンのように夢もふくらみますと野呂さん



今後の行事予定

「亀山城さくら祭り」実行委員会	2月27日(金) 19:00～21:00	市役所3階 理事者控室	4月4日(日)開催に向けての会議
ぽっかぽかの会	2月29日(日) 10:00～12:00	あいあい2階 小会議室1・2	小規模作業所「つくしの家」の赤塚先生のお話を聞く
きらめき亀山21 企画会議	3月1日(月) 19:30～	市役所3階 理事者控室	3月21日のテーマの検討について
亀山の自然環境を愛する会 定例会	3月3日(水) 19:00～21:00	あいあい2階 小会議室1	
生涯学習講座「いやしの教室	3月6日(土) 10:00～11:30	亀山高校1棟1階大 会議室	「ガンジーとキング牧師」差別と戦う勇気「非暴力主義とは」
第4回市民交流会実行委員会 最終回	3月8日(月) 19:30～	市役所3階 大会議室	反省・記録冊子製作準備
KIFA国際交流の会 定例会	3月9日(火) 19:30～	市役所3階 理事者控室	
ぽっかぽかの会 お菓子作り教室	3月11日(木) 9:30～12:30	あいあい2階 栄養指導室	
「亀山城さくら祭り」ブース説明会	3月12日(金) 19:00～	市役所3階 理事者控室	
地域の活性化を考える会 定例会	3月15日(月) 19:30～	市役所2階 第1会議室	
宿場の賑わい復活一座 定例会	3月18日(木) 19:30～	市役所2階 第1会議室	
ぽっかぽかの会 定例会	3月19日(金) 19:00～21:00	あいあい2階 小会議室1	
子育て支援「かめのこ」	3月20日(土) 10:00～12:00	児童センター2階 会議室	
太岡寺交差点クリーン作戦	3月20日(土)	太岡寺交差点周辺	太岡寺交差点の花壇づくり、壁画の色ぬりなどを行います。ボランティア大歓迎！
ぽっかぽかの会 アート教室	3月21日(日) 10:00～12:00	あいあい2階 ふれあい工作室	
定例市民交流の日	3月21日(日) 19:30～21:30	市役所3階 大会議室	テーマは、3月上旬「きらめき亀山21」ホームページでお知らせします
講演会:日本と世界 活きた英語を使うには?	3月27日(土) 19:00～21:00	あいあい2階	主催:「市橋隆雄さんを支える会」 講師: 舘 清 TOEIC三重県委員長
春休み親子お菓子作り教室	3月31日(水) 9:30～	あいあい2階 栄養指導室	親子で体験しませんか? 参加費: ひとり 500円(6歳以上対象) 定員: 12組(名) 先着順 当日のボランティアも募集中!

編集作成: 「きらめき亀山21」広報

この月刊新聞は毎月21日の交流会に配布され市役所市民活動コーナーや各公共施設でも入手できます。

EMAIL amani@helen.ocn.ne.jp ホームページ <http://www6.ocn.ne.jp/~kameyama/kirameki/>

亀山市民ネット <http://www6.ocn.ne.jp/~kameyama/>